

【パフォーマンスレポート】

公表日：2014年2月28日

地域金融機関 CLO シンセティック型

ストラクチャードファイナンス本部

（合同会社クローバー）

【現状】

発行日（2011年3月11日）から2013年12月6日までの期間（計算期間）において、クレジットイベント債権が2件発生している。計算期間末日時点で延滞債権が10件発生しており、クレジットイベント通知後未認定債権は発生していない。計算期間末日時点における延滞債権をクレジットイベントに含めた場合の累積クレジットイベント発生率は約7.27%である。

これらを踏まえて、現状の累積デフォルト率などを考慮し、第1回A号無担保社債および第1回B号無担保社債の格付をそれぞれAAAとしている。

【格付対象】

発行者	合同会社クローバー
名称	第1回A号無担保社債（責任財産限定特約付及び適格機関投資家限定） 第1回B号無担保社債（責任財産限定特約付及び分割禁止特約付）
金額	第1回A号無担保社債：11,586,580円（当初1,900,000,000円） 第1回B号無担保社債：6,365,106円（当初578,646,000円）
発行日	2011年3月11日
予定償還期日	2014年3月28日
最終償還期日	2014年5月28日
償還方法	パススルー （A号無担保社債、B号無担保社債の割合に応じたプロラタ償還）
裏付資産	クレジットデフォルトスワップ契約、預金
参照債務	中小企業が発行する貸付債権プール
信用補完	優先劣後構造
参加金融機関	西京信用金庫、富山信用金庫、北伊勢上野信用金庫、大阪信用金庫、淡路信用金庫
スワップカウンター パーティー	日本政策金融公庫
アレンジャー	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
格付	第1回A号無担保社債：AAA （個別信用補完：第1回B号無担保社債、第1回C号無担保社債、免責金額（劣後比率 約97.6%）） 第1回B号無担保社債：AAA （個別信用補完：第1回C号無担保社債、免責金額（劣後比率 約96.3%））
備考	格付は、最終償還期日までに社債元本が全額償還され、期日通りに利払いされる可能性を評価している。

【裏付資産の状況】

	2011/3/11	2013/12/6
参照債務残高	3,141,574,000 円	486,685,000 円
参照債務残高率	100%	15.49%
クレジットイベント通知後未認定債権元本金額	0 円	0 円
クレジットイベント通知後未認定発生率	0%	0%
延滞債権元本金額	0 円	200,895,000 円
延滞率	0%	41.28%
累積クレジットイベント債権元本金額	0 円	27,639,000 円
累積クレジットイベント率	0%	0.88%
参照債務	140 件	125 件

参照債務残高率：

計算期間末日の参照債務残高／当初参照債務残高

クレジットイベント通知後未認定債権元本金額：

計算期間末日でクレジットイベント通知後未認定である参照債務の元本金額

クレジットイベント通知後未認定発生率：

計算期間末日でクレジットイベント通知後未認定である参照債務の元本金額／計算期間末日の参照債務残高

延滞債権元本金額：

計算期間末日時点で延滞である参照債務の元本金額

延滞率：

計算期間末日の延滞債権元本金額／計算期間末日の債権元本残高

累積クレジットイベント債権元本金額：

計算期間末日時点のクレジットイベント発生債権の累計元本金額

累積クレジットイベント率：

計算期間末日の累積クレジットイベント発生債権元本金額／当初債権元本残高

クレジットイベント債権：

クレジットイベント債権は、参照債務の借入人（参照組織）について CDS 契約に定められた信用事由（法的破綻、参照債務の 3 カ月以上の延滞、リストラクチャリング等）が発生した債権をいう。

Credit Express は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。また、R&I は、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。